

茶道参観日に向けて

対象:5歳児 作成日:2018年1月29日 作成者:進藤早苗

保育のねらい

- ・掛け軸(習字)を作り、おうちの人を迎えるための準備をする。



保育の振り返り

先日、茶道サークルのお母さん方のお作法を見学した時、床の間に掛け軸がかかっていることに気が付いた子どもたち。お茶席には『掛け物ほど第一の道具はなし』といわれるほど、最も重要されているそうです。自分達に出来ることは何か？と保育者と一緒に考えたところ・・・自分の名前を筆で書いたら！となり挑戦してみました。(豊かな感性と表現)。習字と言えば園長先生です。半紙、コピー用紙、再生紙、いろいろな紙を使い自分の名前や好きな絵を書きました。(社会生活の関わり)。ざらざら、つるつる、茶色、白 いろいろな色や質感の違いにも気付けた日でした。掛け軸に使った紙は、アートの時自分の好きな色に染めた障子紙です。